



愛知県陶磁美術館
セラミアム AICHI PREFECTURAL CERAMIC MUSEUM

用の美が凝縮された注ぎのうつわ



色絵花鳥園水滴
十四代 酒井田柿右衛門
1998年 高さ3.8cm

2021年

6/26_[土] - 9/26_[日]



鉄袖印花蓮弁文水滴
瀬戸
14世紀 高さ3.7cm

会場 本館1階 第1展示室

開館時間 [6月26日(土)]
午前11時から午後4時30分まで(入館は午後4時まで)
[6月27日(日) - 6月30日(水)]
午前9時30分から午後4時30分まで(入館は午後4時まで)
[7月1日(木) - 9月26日(日)]
午前9時30分から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日
(ただし、8月9日(月・休)は開館、8月10日(火)は休館、9月20日(月・祝)は開館、9月21日(火)は休館)

主催 愛知県陶磁美術館、中日新聞社
後援 愛知県教育委員会、愛知高速交通株式会社(リニモ)
観覧料 一般600円(480円)、高校・大学生500円(400円)、中学生以下無料
※()内は20名以上の団体料金
※各種割引制度については公式WEBページでご確認、またはお問い合わせください

◎当館では、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を実施しています。
また、今後の状況等により、事業内容が変更になる場合があります。



企画展



小きき陶芸

—大島国康コレクションを中心に—

SUITEKI - The Beauty of the Small Pottery
-Around the Adored Water Droppers of the Oshima Kuniyasu Collection-



灰釉刻花渦巻文水滴
加藤幸次(三十一世 加藤唐三郎)
1984年頃 高さ4.3cm



赤絵金彩細描花文水注形水滴
見附正康
2010年頃 高さ5.9cm

水 滴

小さき陶芸
—大島国康コレクションを中心に—

水滴は硯に水をさす時に使う、小さなうつわです。高度な制作技術に支えられた実用品である一方、その造形には地域や時代を映した精神性と遊び心が溢れています。

二〇二〇年度、名古屋在住の大島国康氏から愛知県へ「陶磁水滴コレクション」計一、〇六二点が寄贈されました。大島氏の陶磁水滴コレクションは中世の古瀬戸から近現代にわたり、個人による水滴コレクションとしては日本屈指の規模と内容となっています。

本展では、貴重なコレクションから約三〇〇点を選び、陶磁製水滴の世界を概観するとともに、香合、茶入など当館の小型古陶磁を併せて展示紹介いたします。



1 染付皇居二重橋図角形水滴 瀬戸 19-20世紀 / 2 線上手児形水滴 赤土士朗 1995年頃 / 3 鉄釉鳥覗き印花剣先文水滴 瀬戸 14世紀 / 4 長石釉猿形水滴 美濃 16世紀 / 5 灰釉鉄絵農夫図水注形水滴 六代 波草柳造 20世紀後葉 / 6 漆黒釉全彩唐草文水滴 二代 中田錦玉 1980-1990年代 / 7 灰釉鳥形水滴 瀬戸 14世紀 / 8 梨皮朱泥水滴 三代 山田常山 1970年代後半 / 9 緑釉蛙付筒形水滴 中国 18-19世紀

同時開催テーマ展

「愛知の新たな宝—新収蔵の重要古陶磁—」

6月26日(土)~9月26日(日) 会場:本館1階 第2展示室

愛知県が近年収蔵して陶磁美術館が保存している貴重な古陶磁のうち、古代猿投窯と中世瀬戸窯で制作された名品を展示します。出品作には、過去に展示公開歴がない古代猿投窯の作品や、2020年度末に収蔵後、本展が初公開となる重要な中世瀬戸窯の作品が含まれており、歴史的に貴重な愛知の古陶磁文化財を通じて、愛知の歴史文化を紹介いたします。



灰釉蕨手唐草文手付水注 瀬戸 14世紀 [2020年度 収蔵]

瀬戸市内の美術館展覧会情報 ※新型コロナウイルス感染症の状況により、会期等が変更になる場合があります。

瀬戸市美術館 TEL.0561-84-1093

特別展「瀬戸焼展—受け継がれる千年の技と美—」

6月5日(土)~8月1日(日)

特別展「瀬戸市美術館収蔵北川民次コレクション 全員集合!」

8月7日(土)~9月26日(日)

瀬戸蔵ミュージアム TEL.0561-97-1190

企画展「小長曾陶器窯跡—元祿に甦った室町の窯—」

5月1日(土)~8月1日(日)

瀬戸市新世紀工芸館 TEL.0561-97-1001

展示棟企画展

「横山翔平・小林千紗展」

6月26日(土)~9月19日(日)

瀬戸染付工芸館 TEL.0561-89-6001

企画展「瀬戸の染付—北新谷・南新谷を中心に—」

6月2日(水)~9月20日(月・祝)



- リコモ「陶磁資料館南」駅下車、徒歩600m (リコモへは地下鉄東山線「藤が丘」駅又は愛知環状鉄道「八草」駅で乗り換え)
- 名鉄瀬戸線「尾張瀬戸」駅下車、「瀬戸駅前」のりば1から名鉄バス「菱野団地」經由「愛・地球博記念公園」行き「陶磁美術館」下車(土・日・祝のみ)
- 自家用車 (駐車場無料・250台収容、大型バス9台収容)

学習・体験プログラム

事前申込制 会場:陶芸館 定員:各20名

記念講座・ワークショップ「水と硯」

水滴で水を注ぐ先である硯について、硯工芸作家が解説します。

また、いろいろな種類の石と墨で試し擦りする体験を行います。

日時:8月22日(日)午後1時30分~午後3時30分

講師:硯刻家 五代 名倉鳳山氏(新城市指定無形文化財保持者、日本工芸会理事)

参加料:大人300円、中学生以下150円

ワークショップ「古瀬戸水滴の鑑賞と制作」

古瀬戸水滴の陶片を鑑賞し、陶製水滴を作ります。

日時:7月11日(日)午後1時30分~午後3時30分

ワークショップ「平面からDOGU—たち上がれ小さき人々」

ポートレート写真や絵画など自分のアイコンとなるような画像をもとに、土偶を作ります。

日時:8月1日(日)午後1時30分~午後3時30分

講師:当館陶芸指導員及び学芸員 参加料:大人950円、中学生以下800円

●各ワークショップの事前申込方法の詳細は、公式WEBページをご確認ください。

事前申込不要 会場:本館地下1階講堂 定員:各100名、聴講無料

講座「陶磁水滴コレクション—大島コレクションの世界」

日時:7月4日(日)午後1時30分~午後3時

展示第一部「書の友、水滴」について、担当学芸員が解説します。

講師:小川裕紀(当館主任学芸員)

講座「やきものマイクロコズム—愛知県陶磁美術館の小さなやきもの宇宙」

日時:9月5日(日)午後1時30分~午後3時

展示第二部「MICROCOSMS」について、担当学芸員が解説します。

講師:宮川菜々子(当館学芸員)

講座「名陶で学ぶ古代猿投窯の歴史」

日時:9月19日(日)午後1時30分~午後3時

同時開催テーマ展「愛知の新たな宝」に関連して、担当学芸員が概説します。

講師:小川裕紀(当館主任学芸員)

※新型コロナウイルス感染症の状況により、事業内容が変更になる場合があります。

愛知県陶磁美術館 〒489-0965
セラミアム AICHI PREFECTURAL CERAMIC MUSEUM 愛知県瀬戸市南山口町234番地
TEL.0561-84-7474 FAX.0561-84-4932 https://www.pref.aichi.jp/touji

公式WEBページ



次回展覧会のお知らせ

特別展「華*花—四季の花と中国陶磁史—」
10月9日(土)~12月12日(日)

割引引換券

100円割引

一般600円→500円 高大生500円→400円 中学生以下無料
本券1枚につき1名、上記割引料金でご観覧いただけます。他の割引とは併用できません

割引引換券

100円割引

一般600円→500円 高大生500円→400円 中学生以下無料
本券1枚につき1名、上記割引料金でご観覧いただけます。他の割引とは併用できません

割引引換券

100円割引

一般600円→500円 高大生500円→400円 中学生以下無料
本券1枚につき1名、上記割引料金でご観覧いただけます。他の割引とは併用できません